



二中だより

さ と く う つ く し く た く ま し く

天童市立第二中学校だより 第11号 令和7年10月24日 文責：校長 五十嵐由美子

自分たちの成長を振り返る

前期生徒会から 後期生徒会へとつなぐ

10月20日(月)に、前期の生徒会活動を振り返り、これまでの総括を行い、その成果と課題を明らかにし、後期生徒会につないでいく、「生徒会まとめの会」を行いました。

第57期生徒会スローガンである「優 ～情熱・友情・凜然～」が達成されたかどうかを全校生に問いかけた事前アンケートをもとに、生徒会長、副会長より全体の総括が行われ、その後、4月から自分たちのクラスはどのような成長があったか、学校全体はどのように成長したかを、学級ごとに話し合い、クラスの代表が発表して全校生で共有しました。「行事を通して団結力が高まった」「学習意欲が増して真剣に取り組むようになった」「給食準備が早くなった」「2分前着席ができるようになった」「物事に対する姿勢が変わった」といったことが各クラスの成長として挙げられ、また、学校全体の成長としては、「応援の一人一人の声が大きくなった」「あいさつが良くなった」「協力して素早い行動ができるようになった」「先を見通して行動するようになった」などが挙げられました。

朝の30分間という短時間の会でしたが、学級ごとに話し合う場面と全体で聞き合う場面とのメリハリのある雰囲気の中、自分たちのこれまでの生活を振り返り、その成長に目を向け、これからの自分たちの生活について考える時間になりました。



公開研究会開催

「質の高い」学びを目指して

10月22日(水)、天童市教育委員会委嘱公開研究会を開催しました。市内の全中学校の先生方をはじめ、市内外より約170名の教育関係者が本校に来校し、国語、社会、数学、理科、英語、保健体育の6つの教科の授業を参観いただき、協議を行いました。

参観者アンケートの「生徒の姿」の項目から一部紹介します。「互いの考えを伝え合い、考えを練り合う姿から、普段から学び合う関係ができていることが伝わってきた」「粘り強く考える姿や、活発に生徒同士で交流する姿が見られた。何より、教室の雰囲気が温かく、発言しやすい雰囲気になっていると感じた。」「安心して学習に取り組んでいる様子だった。自分の発言を先生や他の生徒に受けとめてもらえるという安心感・信頼感が背景にあると感じた。」「自分の学びの成果から、使いやすいものを選び、調べ、粘り強く学ぶ姿勢があり、自立した学習者であると感じた。」



3年社会(公民)「もし私が天童市議会議員になったら」自分の考えた施策を説明している場面